

■コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり(O157)、今年の累計は30件となりました。そのうち12件(40%)は無症状病原体保有者です。

腸管出血性大腸菌は、熱には弱いですが、感染力が強く、わずか数十個でも感染すると考えられていますので、手洗いの励行に心がけるとともに、生肉などの食品の取扱いには十分注意する必要があります。

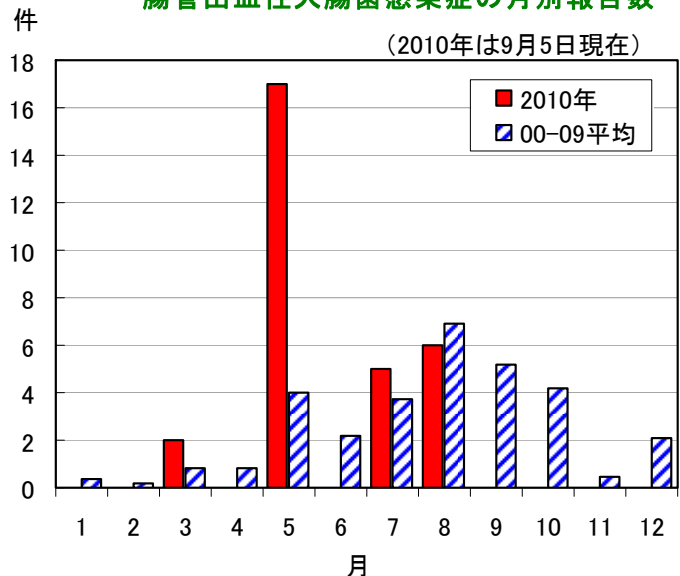
5月から10月ごろにかけて多発する傾向にありますので、今後も注意が必要です。

2. 咽頭結膜熱

定点当たり0.67人と多い状態が続いています。中区3.7人となっています。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数

(2010年は9月5日現在)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注)間	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.19		ヘルパンギーナ	9	0.38	1.04	
咽頭結膜熱	16	0.67	0.33	→	流行性耳下腺炎	21	0.88	0.63	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	0.42	0.64		RSウイルス感染症	3	0.13	0.02	
感染性胃腸炎	71	2.96	3.72	→	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	21	0.88	0.48	↗	流行性角結膜炎	9	1.13	0.53	
手足口病	5	0.21	0.66		細菌性髄膜炎	-	-	0.06	
伝染性紅斑	1	0.04	0.17		無菌性髄膜炎	-	-	0.14	
突発性発しん	10	0.42	0.98		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.29	
百日咳	1	0.04	0.09		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	9	168	男性(10歳未満)・1人、女性(10歳未満)・1人、女性(30歳代)・1人、男性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・2人、女性(80歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	30	男性(10歳代)・O157

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

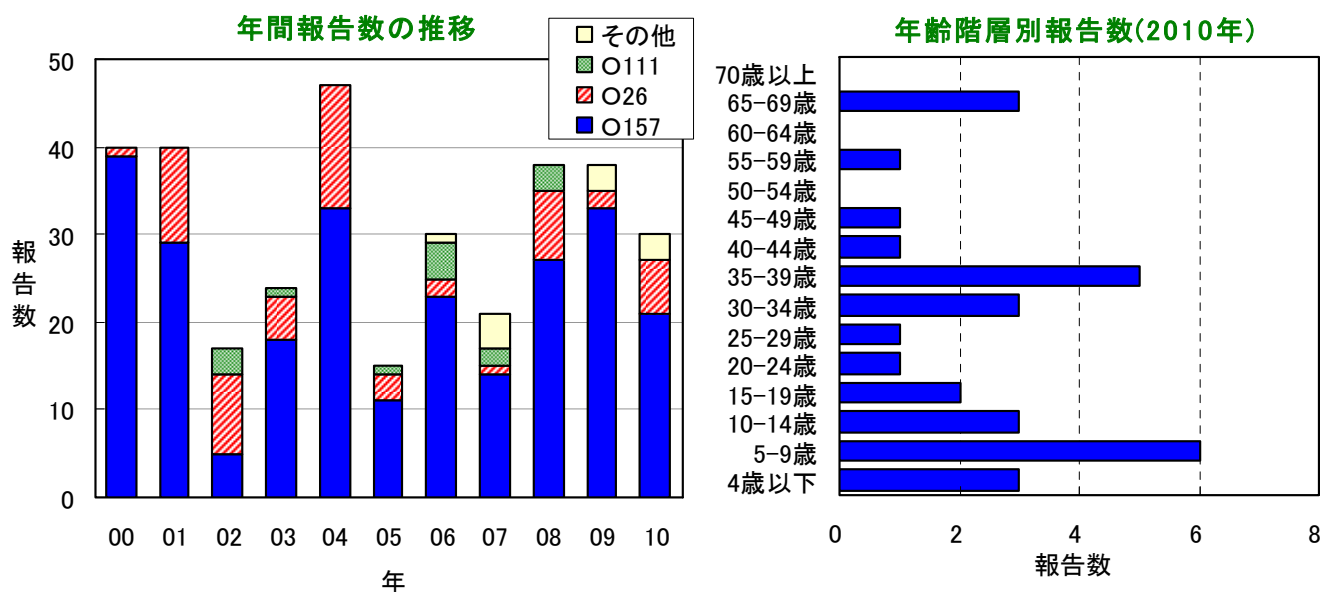
			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第31週	-	18	13	59	19	28	7	19	1	46	46	-	1	7	-	1	2	-
		第32週	3	20	2	48	13	20	2	15	3	16	25	2	-	6	-	-	2	-
		第33週	-	18	4	73	22	16	7	16	1	8	53	6	-	8	-	-	4	-
		第34週	-	17	9	71	12	13	3	14	4	10	30	2	-	4	-	1	-	-
		第35週	-	16	10	71	21	5	1	10	1	9	21	3	-	9	-	-	-	-
定点当り	広島市	第31週	-	0.75	0.54	2.46	0.79	1.17	0.29	0.79	0.04	1.92	1.92	-	0.13	0.88	-	0.14	0.29	-
		第32週	0.08	0.83	0.08	2.00	0.54	0.83	0.08	0.63	0.13	0.67	1.04	0.08	-	0.75	-	-	0.29	-
		第33週	-	0.75	0.17	3.04	0.92	0.67	0.29	0.67	0.04	0.33	2.21	0.25	-	1.00	-	-	0.57	-
		第34週	-	0.71	0.38	2.96	0.50	0.54	0.13	0.58	0.17	0.42	1.25	0.08	-	0.50	-	0.14	-	-
		第35週	-	0.67	0.42	2.96	0.88	0.21	0.04	0.42	0.04	0.38	0.88	0.13	-	1.13	-	-	-	-
全国		第33週	0.03	0.27	0.49	2.74	0.63	1.34	0.34	0.66	0.04	1.32	1.20	0.07	0.01	0.81	0.02	0.06	0.33	0.05
		第34週	0.03	0.29	0.52	3.01	0.60	1.21	0.30	0.74	0.04	1.14	1.06	0.09	0.03	0.81	0.02	0.05	0.31	0.04

■新たに判明した病原体検出状況

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
ヘルパンギーナ	3	男	2010/07/24	咽頭拭い液	エコーウイルス25型
その他の呼吸器疾患(肺炎/間質性肺炎)	0	女	2010/07/07	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の消化器疾患(腸重積症)	0	男	2010/07/29	糞便	パレコウイルス1型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■広島市における腸管出血性大腸菌感染症の発生動向(2010年9月5日現在)



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
 なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧くださいませ。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2010年第35週(8月30日～9月5日)